



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2012. 第 67 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

最近朝晩、めっきり寒くなりましたね。屋根などには朝、塗装屋さん泣かせの“夜露”なんかもおりていたり……。つい先日まで暑い、暑いと思っていたのに、もうこれからは寒くなっていくんですね。

日の暮れるのもとても早く、これもまた外仕事の方泣かせ……。16:30～17:00くらいには、もう片づけ始めないといけません。

塗装は薄暗いと、塗ってもほぼきちんと仕上がりにません。きちんと見えないと、塗るべきところに塗料が塗られていなかったりするものです。

めっきり寒くなったといえは……。最近、温かい飲み物を飲むことが多いですね。

以前はもっぱら“コーヒー”だったので、今では“紅茶”や“緑茶”を飲んでいます。

あと、最近ハマっているのが“ココア”です。牛乳をレンジで温めて、ココアをいれてかき混ぜて……。と。

手軽は手軽なのですが、電子レンジですと温めの加減がわかりづらくて……。

温めすぎるとレンジの中が大変なことになってしまいますし、温めが足りないと、ぬる～いココアになってしまいます。

アツアツのココアを少しずつすすりながら……。というのがしたいので、牛乳をきちんとコンロで沸かしていています。

疲れた時や、寝る前なんか飲むと、すごくほっとしますね。毎日の楽しみだったりします……。

ハマっているものもあれば、逆になかなか手につかなくなってしまったこともあったりします。

それは……。文章を書くこと。

昼間は仕事で現場にいますし、夜は家で赤ちゃんの面倒をみたりして……。早いも

ので5か月になりました！)

妻はお風呂に入れたり夕飯の支度があります。長女は長女で学校の宿題などがあってなかなか忙しく、私しかいないんですね。

なので、なかなかこういったことを書く時間が取れなくて・・・。

みんなが寝静まった時間に書くか・・・とも思うのですが、どうにも一日の疲れがドッと押し寄せてきて、10時半ごろにはもう寝てしまいます。

文章を書くことって習慣のようなところがありますから、書かないと余計に何か書こうとしても進まなくなってしまうように思います。

ニュースレターの記事もなかなか進まないときも、最近ではまあまりまして・・・。

でも、先日などは現場の近くで他のお客様にお会いしたとき、

「いつも読んでいますよ！」

って、お声をかけられたり、またあるときはニュースレターがご縁で、お客様になっていただいたりもしますから・・・

ニュースレターをかきはじめから、この秋で10年目を迎えますが、まだまだ書いていきたいとおもいますし、これがご縁で新しい出会いがあると思いますと、余計に頑張りたくなくなってしまいます。

ただこの頃、仕事や家のことで低一杯で、なかなか書く話題に乏しい状態なのもあります・・・。

今度、何か美味しいものでも食べに行つて・・・そんなことを話題にしたいですね。



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

■旅のお話です

休日を利用し、秋深まる福島県の会津地方へ行って来ました。

来年の大河ドラマは、会津若松が舞台の「八重の桜」。話題になること間違いなしの地です。一足早く、行って来ましたので、ちょっとご紹介を！

■鶴ヶ城

1384年に黒川城として創設された、会津若松のシンボルです。江戸時代までの天守閣は、幕末の戊辰戦争で傷ついたため、明治に入り取り壊されてしまいましたが、昭和40年再建。その後、改修、復元をされつつ、今に至っています。



現在の城内は、博物館として役立てられており、様々な資料が展示されています。ボランティアガイドさんが居ますので、よ

り詳しく城内を見て回りたい方は、同行していただくと良いでしょう。

私が訪れた時は、夜間のライトアップがされており、とても綺麗でしたよ。

来年1月からは、更に、色々な展示博やイベントが企画されているようですから、大河ドラマ、歴史好きの方には必見です！

■大内宿

会津若松より、南へ車で1時間弱。

約370年前、江戸時代に会津西街道の宿場町として開かれた「大内宿」。伝統的なかやぶき屋根の建物が軒を連ね、蕎麦屋や土産物屋となっています。

大内宿名物と言えば、長ネギを箸代わりに用いてそばを食す「ねぎそば」。

私ももちろん「ねぎそば」を注文！

箸代わりに長ネギをかじりながら食べるわけですが、さすがにちょっと辛く、丸々一本は食べられませんでした・・・でも、さっぱりとした汁に、山菜やきのこなども入っており、美味しくいただきましたよ。



大内宿へ訪れた際には、ぜひ一度お試しください。

■足手まといと言っではいけません・・・

寺社仏閣、お城などを見るのが好きな私

たち夫婦なのですが、3歳の娘には、当然それらに興味がなく、すぐに飽きて・・・、道中、車の中では駄々をこねますし・・・。

仕方がない事とは分かっているのですが、そんな娘を相手にしながらの観光だったので、私自身が楽しめたのかと問うと・・・。

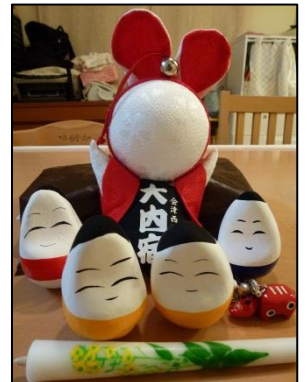
鶴ヶ城の展示もあまり見られなかったし、白虎隊で有名な飯盛山にも行けず（泣）。

私たち夫婦の趣味に走った旅行は、暫くお休みかなと感じています・・・。

そんなこんなで、娘が成長し手が離れるようになってきたら、また会津に行くぞ！と誓って帰路につく私でした。

今回は訪れませんでした。湖・磐梯山・医学者野口英世の故郷として有名な猪苗代、ラーメンで有名な喜多方なども近くですよ。

最後に、右の写真は、会津地方の伝統工芸品。ろうそく、赤べこ、おきあがりこぼし。一番大きい物は、大内宿だけで売られている「福うさぎ」です。



おきあがりこぼしは、家族の人数+1個買うと良いとされているそうなので、全部で4個購入しました。

今もなお、原発事故で大変な苦勞をされている福島県に、多少のお役にでも立てればという思いも抱きながら、旅をしてきました。

おきあがりこぼしのように、何度倒れても必ず立ち上がる、そんな福島、日本に

なりますように・・・。

■塗り替え工事での悩みどころ

さて、ここからは塗装のお話です。

塗装工事の場合、ご計画を立てて、いざやろうと決めると、お客様の方で考えいただくことは、あまり多くないのですが、必ず、お客様のご意思を伺わなければならないのが、「色」のお話です。

外壁、屋根、雨樋などなど、塗装をするという事は、新たに色を付けるという事ですから、「何色」で塗るのかをお決めいただく必要があります。

特に、外壁の色は塗る面積も広く、家の「顔色」となるわけですから、ある意味、塗装工事の最重要ポイントかもしれません。

今までの経験からすると、「今と同じ色、配色が良い」という方が半分、「気分一新、今までとは違う色が良い」という方が半分。見事に半々くらいで分かります。

■気分一新！の場合の注意点

「鮮やかな色は出来るだけ控える」

塗料の色は、絵の具を混ぜるように、いかようにも色を作ることが出来ます。（塗料の種類によっては出来ない色もあります。）

鮮やかな色にしたいというご希望があれば、出来ない事はありますが、塗装店としては、あまりオススメは出来ません。

その理由としては、原色に近い鮮やかな色ほど、色あせが始まった時に、その色あせが目立つようになってしまうからです。

色あせとは、主に太陽光線の作用により、色が薄く、白っぽくなってしまふ現象です。

塗装してすぐは、もちろん鮮やかな色で、見栄えのする仕上がりになりますが、年を重ねるごとに、色あせによる色ムラが汚く見えてしまう・・・という可能性が増してしまふのです。

・・・とは言え、この現象も塗り替え後、10年近く経ってからのお話。

逆手に取れば、また塗り替えの時期が来たんだとハッキリ気付く事が出来るので、それはそれで良いのかもしれない。

そもそもが派手な赤や青をご希望されるお客様自体いませんでしたけど・・・。

■オススメの色と聞かれると・・・

新築の建売住宅では、今も昔も、あまり鮮やかな色は使っていません。

白っぽい色、淡い色（総じて淡彩色と言います）が多いのですが、これは、前述の理由をふまえて、塗料や色の特徴を考えての事だと思われます。

淡彩色は、面白味は少ないかと思いますが、飽きが来ず、汚れも目立ちにくいので、多くの新築にも採用されているのでしょう。塗装店の立場としても、やはり淡彩色が、オススメの色として考えております。

~~~~~

発行者 上神谷裕治（かみかべやゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

